

2月例会 三平山(1009.9m) 岡山・鳥取 三等三角点

実施日 2022(令和4)年 2月19日(土)

天候 曇りのち雪

参加者 CL 船越 SL 角原 覚 小田

佐々木 角原鶴 梶原 永谷 前田 喜多 小林東 (10名)

行程 県境土塁登山口(8:20) → 土塁夏道合流(9:10) → 三平山頂上(9:50) → 支尾根下山 →
夏道登山口四阿昼食(11:20) → 県境土塁登山口(12:30)

概要 昼前から崩れるという天気予報に対応して早目の行動を指示、相乗り4車共に8時に登山口に集合したのは見事でした。内海峠も新雪が40cmの1.2mの積雪と申し分ない大雪の中、県境コースを出発しました。とは言っても小田SLがご来光拝みついでのルートワークをしてくれ、トレースはしっかり付けてくれています。それでも土塁ルートは息が上がる直登です。今日はスノーシュー、カンジキ、どちらも5名ずつです。高度300m登り夏道に出会うと視界は開け、傾斜は緩くなります。振り返ると大山には少し雲がかかり始めました。この三平山の雪原の彼方に並ぶ烏ヶ山、蒜山のとてもはっきりした輪郭には登って来て良かった、天気も未だ大丈夫、暫く見惚れて感激一入です。

頂上の豊年様の前で記念写真を取り合っても未だ10時前です。風も微風、天気の崩れにも十分な余裕があります。穴ヶ峠方向の支尾根伝いで林道へ下山に変更しました。フカフカの新雪下山も雪山の楽しさを倍加させてくれます。林道途中の四阿でゆっくり昼食し、残りの林道歩きは皆でラッセルを交代しながら一致団結一列縦隊で進みました。ハハリ、ハハリと春を待つ雪も舞い始めた。(船越記)

